



SAFETY

Lexus Safety System +

人・クルマ・交通環境の「三位一体の取り組み」とともに、実際の事故から学び、改善を繰り返す「実安全の追求」の推進から生まれた予防安全システムが「Lexus Safety System +」です。2種類のセンサー（ミリ波レーダーと単眼カメラ）による高い認識性能と信頼性、事故低減効果の高い予防安全装備のパッケージ化、そして、世界トップレベルの歩行者検知機能付衝突回避支援を実現しながら、これまで取り組んできた安全システムの連携を進化させました。

この革新的な予防安全システムにより、レクサスは、皆さまに高い安心感をご提供します。

Lexus Safety System +

ドライバーに安心感をもたらす、予防安全システムをパッケージ

さまざまなシーンに衝突回避機能を拡張した

プリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼夜]・自動二輪車[昼]検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー＋単眼カメラ方式)

進路上の車両、歩行者、自転車運転者、自動二輪車をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。衝突の可能性が高いとシステムが判断した場合、ブザーとディスプレイで危険をお知らせ。ブレーキを踏めた場合はブレーキ踏力をアシスト、踏めなかった場合は自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。なお、対向車に対しては正面から衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

※対向車に関しては、正面衝突、相手車逸脱による対向車との衝突に対応。プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

※プリクラッシュブレーキは、対車両の場合は自車速度約5km/h～180km/h、対歩行者、自転車運転者の場合は自車速度約5km/h～80km/hで作動します。また、本機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者や自転車運転者の状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。数値は社内測定値。

※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

<交差点衝突回避支援(出合頭車両)>

従来のプリクラッシュセーフティの作動範囲に加え、交差点で交差する車両・自動二輪車に対しても、衝突回避の支援を行います。衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。

※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。



作動イメージ

<交差点衝突回避支援(右左折)>

交差点右折時に直進してくる対向車(隣接2レーンまで)および右左折時に横断してくる歩行者・自転車運転者をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報およびブレーキを作動させることで、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、プラスサポートモード中の場合は、右折時の対向車に対してより早いタイミングで表示とブザーで接近を伝えます(交差点対向車注意喚起)。



作動イメージ

※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。

※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

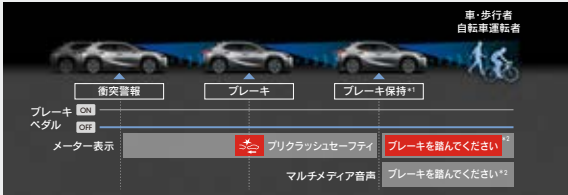
※LUX300h「version L」/「F SPORT」/「version C」において、カラーヘッドアップディスプレイはパノミックビューモニター(床下透過表示機能付)と同時装着となります。なお、パノミックビューモニター(床下透過表示機能付)は単独で選択することもできます。

<音声発話(プラスサポートモードのみ)>

右記のシーンにおいて、メーター表示と音声発話を行いドライバーへ通知します。

*1. 衝突前に車両が停止した場合のみ作動。

*2. プリクラッシュセーフティの作動状況によって右記の通りにならない場合があります。



作動イメージ

車間距離を保ちながら追従走行する

レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)

ミリ波レーダーと単眼カメラで先行車を認識し、設定した車間距離を保ちながら追従走行を支援します。先行車が停止した時は自車も停止して停止状態を保持、先行車が発進した時はドライバー操作により発進し、追従走行を再開します。高速道路の渋滞走行時など、停止・発進を繰り返すシーンで、ドライバーの運転負荷を大幅に軽減します。また、ミリ波レーダーおよび単眼カメラの検知範囲拡大などにより前方認識範囲を拡大。先行車認識、進路判定、割り込み車検知などに対し、すぐれた認識性能を確保しています。また、約80km/h以上でウインカー操作をした際、遅い先行車を追い越すための予備加速、または、車線変更先にいる遅い先行車に追従するための予備減速を実施。

車線の逸脱警告と逸脱抑制を支援する
レーンディパーチャーアラート[LDA]

車線逸脱の可能性をドライバーにお知らせします。システムのON/OFFは、タッチディスプレイにて行うことができます。

<車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能>

車線から逸脱するおそれがある場合にカラーヘッドアップディスプレイ、メーターへの表示、およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告するとともに、車線からの逸脱を避けるためのステアリング操作を支援します。また、ブラインドスポットモニター〔BSM〕と連携して方向指示灯の点滅中であっても、隣の車線を走行中の車両と衝突する可能性があると判断した場合、車線逸脱警報/抑制機能が作動し、音声でお知らせします。さらに、歩行者や駐車車両を避けるための意図的な車線逸脱と判断した場合は車線逸脱警報/抑制機能の作動を抑える機能を採用しました。車線だけでなくアスファルトと草・土などの境界や縁石、ガードレールなどの構造物も認識対象としてシステムが作動します。

※レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]は自動で運転する装置でも周囲への注意を軽減する装置でもないため、運転者はつねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。 ※故意に車線から逸脱して走行するなど、各システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。 ※安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持ち続ける必要があります。手を放すと、レーントレーシングアシスト[LTA]が停止します。 ※例えば次のような条件下では、レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]が正常に作動しないおそれがあります。 ●車線または走路の認識が困難なシーン(悪天候、逆光、濡れた路面、線がかすれている、急カーブ、急勾配、分合流付近など) ●タイヤに変化がある時(応急用タイヤ、タイヤチェーン装着時など) ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]の作動をキャンセルする場合があります。 ●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時(ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など) など ※レーンディパーチャーアラート[LDA]は約50km/h以上で作動します。路外の構造物に対しては約35km/h以上で作動します。ただし、レーントレーシングアシスト[LTA]支援中は約50km/h未満でも車線逸脱警報機能が作動します。 ※作動車速以上で走行しドライバーの目で車線が見える場合でも、山間部や市街地などに見られる次のような状況では、レーンディパーチャーアラート[LDA]が作動しない、または安定して作動しない場合があります。 ●急カーブや急勾配を走行する時 ●車線幅が狭い、または変化している時 など ※レーントレーシングアシスト[LTA]が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。 ※UX300h「version L」/「F SPORT」/「version C」において、カラーヘッドアップディスプレイはパノミックビューモニター(床下透過表示機能付)と同時装着となります。なお、パノミックビューモニター(床下透過表示機能付)は単独で選択することもできます。

先行車や対向車に直接ハイビームを当てない
アダプティブハイビームシステム[AHS]

すぐれた視認性を確保するLED点消灯式AHS。片側11個のLEDの点灯・消灯を制御することで、細やかに照射/遮光します。単眼カメラにより前方の車両光源を検出し、ヘッドランプの配光を先行車両や対向車両に直接ハイビームを当てないように、最適な状態に切り替えます。

「version L」 「F SPORT」* 「version C」*

*三眼フルLEDヘッドランプ(ロー・ハイビーム)&LEDフロントターンシグナルランプを選択した場合、アダプティブハイビームシステム〔AHS〕とヘッドランプクリーナーは同時装着となります。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

スムーズな追い越しや車線変更が行えるようにしました。さらに、レーダークルーズコントロールで走行中、システムが前方のカーブを検知すると、早期に速度抑制を開始するカーブ速度抑制機能を装備しています。また、レーダークルーズコントロール作動中に、音声対話サービスを使用して、設定車速と車間設定を変更できます。なお、制御の開始、車間制御モードと定速制御モードの切り替えを、シンプルなスイッチ操作で行うことができ、すぐれた使用性も追求しています。

※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

車線内の停車と救命要請を自動で行う
ドライバー異常時対応システム

レーントレーシングアシスト〔LTA〕制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、音と表示と緩減速による警告でドライバーに操作を促すほか、ハザードとホーンで車外に異常を報知しながら自車線内に減速停車し、自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。停車後は、ドア解錠やヘルプネット®*自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

※ヘルプネット®はG-Linkに含まれるサービスです。G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。詳しくは45-46ページをご覧ください。 ※ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路(一部を除く)を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。

※ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路(一部を除く)を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。

信号機や先行車を検知して自車の発進遅れを知らせる
発進遅れ告知機能〔TMN〕

信号の表示や先行車の動きをミリ波レーダーと単眼カメラで検出。交差点先頭で停止時に信号の停止表示が解除されても自車が停止し続けた場合、または、先行車が発進し一定距離を走行してもなお自車が停止し続けている場合に、メーター表示、およびブザーなどでお知らせします。

※右折矢印信号も検知可能です。※シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。※先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

道路標識を表示し告知も行う
ロードサインアシスト〔RSA〕

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「一時停止」「転回禁止」の道路標識を、メーターに表示。また、「最高速度」「車両進入禁止」「赤信号」の道路標識や信号に従っていないとシステムが判断した場合、表示の反転や点滅、ブザーなどでドライバーに告知します。それらにより、道路標識などの見落としを減らし、安全運転を促します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

■ = 標準装備 □ = メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

Lexus Safety System +

ドライバーに安心感をもたらす、予防安全システムをパッケージ

リスクを先読みして運転操作を支援

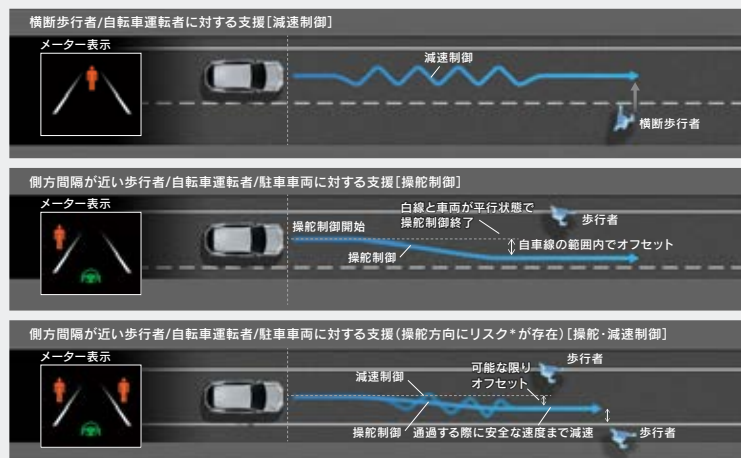
プロアクティブドライビングアシスト[PDA]

「歩行者の横断」「飛び出してくるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行うことで、危険に近づきすぎないよう運転操作をサポートし、ドライバーの安心につなげます。さらに先行車や前方のカーブに対して減速操作をサポートし、頻繁な踏みかえ操作を軽減することにより、一般道などのシーンでドライバーの運転に寄り添いやすくサポートする機能です。以下5つを備え、運転状況に応じて適切な操作をサポートします。

1. 歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する操舵・減速支援

リスクを先読みし、危険に近づきすぎないようにステアリング・ブレーキ操作をサポートします。

※本支援は自車速が約30km/h～約60km/hのときに作動します。



*歩行者/自転車運転者/周辺車両

2. 先行車に対する減速支援

先行車や隣接車の割り込みを検出した時、ドライバーのアクセルOFFに応じて、車間距離が近づきすぎないように緩やかに減速します。

※約15km/hまで減速すると、システムによるブレーキアシストは停止します。



作動イメージ

3. カーブに対する減速支援

前方のカーブに対して自車の速度が速いと判定した場合、ドライバーのアクセルOFFに応じて緩やかに減速します。



作動イメージ

作動イメージ

4. 信号交差点に対する右左折時減速支援

信号交差点への接近を検出した時、ドライバーのアクセルOFFとウィンカー操作に応じて、緩やかに減速します。

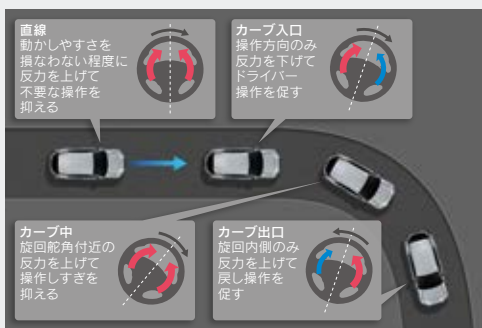
※本支援は自車速が約30km/h～約80km/hのときに作動します。



作動イメージ

5. 車線内走行時常時操舵支援

ドライバーの操作を先読みして、ステアリング反力を変化させることで、不要な操作を抑えたり、操作遅れを防止し、スムーズな走行をサポートします。また、反力変化のみでステアリングを自動で回すことはありません。



作動イメージ

OTHER SAFETY

細やかなサポートで高まる安心感

車両後側方の安全性に寄与する

ブラインドスポットモニター [BSM]

走行中、ドアミラーでは確認しにくい後側方エリアに存在する車両に加えて、隣接する車線の最大約60m後方までモニターし、急接近してくる車両も検知します。車両を検知するとドアミラー内のインジケーターが点灯、車両を検知した状態でウィンカーを操作するとインジケーターが点滅し、より注意を喚起します。



作動イメージ

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用にならない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※ブラインドスポットモニター [BSM] はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

降車時の危険を知らせる

安心降車アシスト [SEA]

降車時、ブラインドスポットモニター [BSM] のセンサーを活用し、後方からの自転車を含む接近車両などを検知。開放後のドア、もしくは降車した乗員と衝突する可能性があるとしてシステムが判断した場合、ドアミラー内のインジケーターを点灯させ注意を促します。また、ドアを開けようとした場合、ドアミラー内のインジケーター点滅、ブザー、メーター表示で乗員へ告知します。



作動イメージ

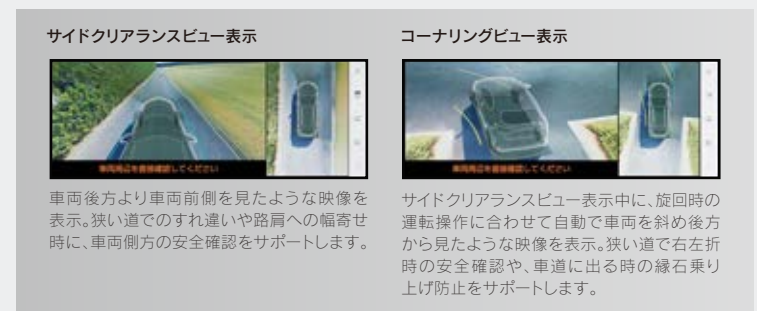
車両直下やタイヤ付近の状況も把握できる

パノラミックビューモニター (床下透過表示機能付)

運転席から目視しにくい車両周囲の状況をリアルタイムで確認できます。ボディやシートを透かして見たようなシースルービューや、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューも採用。さらに、床下透過表示機能*の設定により、車両直下およびタイヤ付近のアンダーフロア映像を表示して、駐車やすり抜けを支援します。



*あらかじめ12.3インチディスプレイオーディオ (コネクティッドナビ対応) Plusにて床下透過表示機能を設定 (ON) することで、車体の動きに連動し、床下透過画像が表示されます。
※画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。映像を過信せず、必ず車両周辺の安全を直接確認しながら運転してください。なお、字光式ナンバープレートは装着できません。
※UX300h "version L" / "F SPORT" / "version C" において、カラーヘッドアップディスプレイはパノラミックビューモニター (床下透過表示機能付) と同時装着となります。なお、パノラミックビューモニター (床下透過表示機能付) は単独で選択することもできます。



作動イメージ

駐車時の安全を多角的に支援する

パーキングサポートブレーキ [PKSB]

■ 前後方静止物: 低速走行時に壁などの静止物までの距離と危険度を、12.3インチディスプレイオーディオ (コネクティッドナビ対応) Plus、およびブザーなどでお知らせします。低速走行時に壁などの静止物と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

■ 後方接近車両: 後退して出庫する際、自車後側方から接近する車両の存在を、ドアミラー、12.3インチディスプレイオーディオ (コネクティッドナビ対応) Plus、およびブザーでお知らせします。自車後側方から接近する車両と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態等によっては、作動しない場合があります。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※パーキングサポートブレーキ [PKSB] が作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。
※立体物に対しても作動することがあります。ブレーキ作動後はブレーキを踏んで周囲の確認をお願いします。
※字光式ナンバープレートは装着できません。



＝ メーカーオプション

※装備類の詳細い設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

無線通信により更新が可能

ソフトウェアアップデート



機能説明
情報はこちら

DCM (Data Communication Module) による無線通信で、レクサス販売店へ入庫することなく性能向上のためのソフトウェア更新が可能なOTA (無線通信) によるソフトウェアアップデート機能を設定しました。OTAによるソフトウェア更新中も、通常通りの車両走行、Lexus Safety System + 機能が使用可能。ソフトウェアの更新は、パワースイッチON時のみ実施されます。



Lexus Safety System + を安全にお使いいただく上での留意事項説明

Lexus Safety System + は予防安全パッケージです。ご契約に際し、Lexus Safety System +、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

- 運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、つねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。
- 各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすと思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車両姿勢が変化する架装・改造や、各システムのカメラ・センサーを遮るような架装・改造を行うと、各システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ご使用前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。

ご使用になる際のお客さまへのお願い



機能説明
情報はこちら

OTHER SAFETY

細やかなサポートで高まる安心感

万ーに備えて、運転中も駐車中も記録

ドライブレコーダー（前後方）

万ーに備えて、運転中も駐車中も記録。車載カメラを併用し、内蔵メモリー方式を採用したドライブレコーダー。車両前方、後方のカメラ映像をメモリー内に常時録画します。各種録画映像は、12.3インチディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plusで再生。すぐに映像を確認することができます。映像データをスマートフォンやUSBメモリーに転送し、持ち運びすることも可能です。*1

全車

■常時録画

パワースイッチがONの間、常時映像を録画します。録画開始後は約1分単位で録画し続けます。記録上限時間の約100分を超えた場合、古いデータから上書きされます。

■手動録画

ドライバーが手動操作により、希望するタイミングで映像を撮影することができます。操作は、手動録画面の録画ボタンを押すほかに、音声操作で開始することもできます。

■イベント録画

急ブレーキ、エアバッグ展開を伴う衝突時、自車後方の極接近車両検知時等、検知対象のイベントが発生した場合、後で走行状況を確認できるように自動で録画映像を保護。イベント発生タイミングを基準に前後10秒間の前後方カメラ映像を記録します。

■駐車時イベント録画

駐車時（パワースイッチOFF時）に衝撃などを検知した場合、後で周辺状況を確認できるように自動でカメラが作動。検知してから作動し、録画を開始。60秒間の前後方カメラ映像を記録します。

※イベント検知の感度は変更可能です。

■地図表示モード*2

手動録画映像、イベント録画映像、駐車時イベント録画映像について、地図上に撮影地点を表示し、地点を選択することで再生することができます。



映像再生イメージ



前方映像イメージ



後方映像イメージ

*1. スマホへの転送・再生にはスマートフォンアプリ「My Drive Recorder Viewer」のインストールが必要です。
 *2. 録画映像の地図表示は車載ナビ装備車またはコネクティッドナビ（車載ナビ有）利用時に使用できます。
 ※ 前方はLexus Safety System + のカメラ、後方はドライブレコーダー用カメラを使用しています。
 ■ドライブレコーダー（前後方）は事故の検証に役立つことを目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。 ■録画されたファイルが破損していた場合による損害、故障や使用によって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。 ■録画した映像は、その使用目的や使用方法によって、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、イタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。 ■詳細につきましては取扱説明書をご覧ください。 ■機能 画角（水平）：前方108°/後方62° 録画画素数：前方200万画素（上下に黒帯が記録されるため、映像は約180万画素となります）/後方200万画素（上下に黒帯が記録されるため、映像は約130万画素となります） ■写真はイメージです。

[DEALER OPTION] プラスサポート（急アクセル時加速抑制）専用キーでのドア解錠でプラスサポートが自動で始動します。

全車

<急アクセル時加速抑制>

障害物の有無にかかわらず、アクセルの踏み過ぎや踏み間違いを検知するとクルマの加速を抑制し、「アクセルが踏まれています」との音声発話と警報ブザー、ディスプレイ表示でドライバーに注意喚起する機能です。

<Lexus Safety System +の機能拡大>

プラスサポートモードがONの場合、Lexus Safety System +各機能の挙動（警報タイミングや音声発話の有無）を、より安全な運転につながる方へ拡大します。

・プリクラッシュセーフティの交差点対向車注意喚起の作動

・ロードサインアシスト[RSA]で音声発話による注意喚起を実施 など



プラスサポート用スマートキー（電子キー）（カードキー）

標準キーと区別しやすい、サテンゴールド加飾の専用キーです。



マルチインフォメーションディスプレイ表示



※本製品にメカニカルキーは付属していません。標準スマートキーに付属のメカニカルキーを本製品に差し替えてご使用ください。 ※メカニカルキーが無い状態では、電子キーの電池が切れた時にドアロックを解除できなくなります。メカニカルキーは追加で購入していただくことも可能です。レクサス販売店におたずねください。 ※ブレーキを制御するシステムではありません。 ※自車車速約30km/h以下で作動します。 ※前進および後退時に作動します。 ※アクセルを強く踏み込むような運転をした場合に、息回せずシステムが作動することがあります。 ※プラスサポートで運転中でも、左右折時や車線変更時、一時停止位置や信号待ちからの発進時、急な坂道での発進や加速時には、通常どおり加速できます。ただし、方向指示レバーを操作せず左右折や車線変更をしたり、ブレーキを踏まない状態（ブレーキホールドでの停車中含む）から発進するとシステムが作動することがあります。その場合は、一度アクセルを離し、ゆっくり踏みおせば加速が可能です。 ※プラスサポート用スマートキー（電子キー・カードキー）と標準スマートキーは同時に携帯せず、目的に合った1種類のキーのみ携帯してください。プラスサポートが作動しない可能性があります。メーター表示で始動中をご確認ください。

すべての席の安全性に配慮

全席 ELR付 3点式シートベルト

（運転席・助手席：テンションリデューサー・プリテンショナー【予防連携機能】・フォースリミッター機構付、後左右席：プリテンショナー【予防連携機能】・フォースリミッター機構付）

プリクラッシュセーフティによって車両との衝突の可能性が高いと判断された場合、プリテンショナー機構*の作動を準備する機能を採用しています。

*前方からの強い衝撃を感知するとシートベルトを瞬時に巻き取り乗員の拘束効果を高める機構。

※プリテンショナー機構は衝突の条件によっては作動しない場合があります。

UXは「セーフティ・サポートカーS<ワイド>」です。

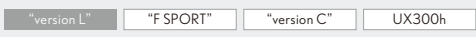
セーフティ・サポートカーS<ワイド>（サボカーS<ワイド>）は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。衝突被害軽減ブレーキ【対歩行者・対車両】、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトなどの安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。

■Lexus Safety System + /パーキングサポートブレーキ【PKSB】

ITS専用周波数で通信し、安全運転をサポート

ITS Connect

クルマのセンサーでは捉えきれない見通し外の情報や信号等の情報を、クルマとクルマ、あるいは道路*とクルマが直接通信し、カラーヘッドアップディスプレイやマルチインフォメーションディスプレイでの表示、ブザー音でドライバーに知らせ、安全運転を支援するシステムです。



*路車間通信システムに対応した路側装置は、2023年12月現在、宮城県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県に設置されています。

※本システムは「路側装置が設置された交差点」または「本システムが搭載された周辺車両」との間でのみ作動します。また、路側装置が設置された交差点であっても、交差点に進入する方向によっては、作動するシステムが異なる場合があります。本システムはあくまでも補助機能です。システムを過信せず、つねに道路状況に注意し、安全運転を心がけてください。

※緊急車両存在通知は通信機を搭載していない車両の存在は察内されません。ドライバー自身が周囲の安全を確認してください。

※通信利用型レーダークルーズコントロールは、先行車や周囲の車両の走行状態によっては、スムーズな追従走行が行われない場合や、自車の速度や先行車との車間距離に影響がおよぶ場合があります。

※右折時注意喚起は、路側装置が設置された交差点であっても、路側装置の種類や、交差点に進入する方向によっては、対向車のみを検知し、歩行者がいることを注意喚起しない場合があります。なお、対向車や歩行者が路側装置（感知器）の検出範囲外に存在している場合や、路側装置（感知器）が車両の特徴や環境条件・経年変化等によって未検知や誤検知を起こす場合は、注意喚起しないことや、通知内容が実際の道路状況と異なる場合があります。ご利用可能なサービス提供場所については、レクサス販売店におたずねください。

※右記の機能は一例です。
 ※UX300h「version L」/「F SPORT」/「version C」において、カラーヘッドアップディスプレイはパノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）と同時装着となります。なお、パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）は単独で選択することもできます。

シフト操作時の急な発進や加速の防止をサポート ドライブスタートコントロール

シフト操作時における急発進・急加速を抑制し、衝突時の被害軽減に寄与します。例えば、後退時に衝突して慌てたドライバーが、アクセルを踏み込んだままシフトを「R」から「D」へ変更した際、表示で注意を促し、ハイブリッドシステム出力を抑えます。

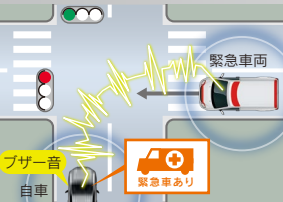
※UX300h「version L」/「F SPORT」/「version C」において、カラーヘッドアップディスプレイはパノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）と同時装着となります。なお、パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）は単独で選択することもできます。

以下のようなシーンでハイブリッドシステム出力抑制 + ドライバー警告を表示

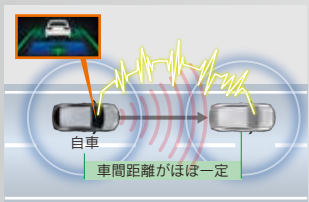
- 1 後退時に衝突した時など
- 2 アクセルが踏み込まれた状態で「R」→「D」にシフト変更
- 3 制動なし 急発進 制動あり 急発進を抑制



クルマとクルマがつながる 車車間通信システム



緊急車両存在通知
 サイレンを鳴らしている緊急車両（救急車）が存在する場合に、ブザー音で通知し、自車両に対するおおよその方向・距離・緊急車両の進行方向を表示します。救急車が見えにくい、騒音でサイレンが聞こえにくい等の状況でも、事前に緊急車両の存在を知ることが可能となります。



通信利用型レーダークルーズコントロール
 レーダークルーズコントロールで先行車が存在している時、先行車が通信利用型レーダークルーズコントロール対応車両であれば、車車間通信により取得した先行車の加減速情報に素早く反応して車間距離や速度の変動を抑制し、スムーズな追従走行が可能となります。

道路*とクルマがつながる 路車間通信システム



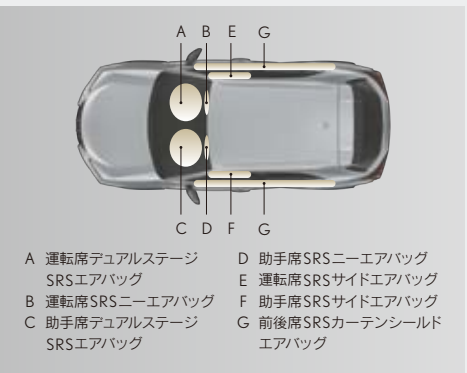
右折時注意喚起
 交差点右折時、道路側の路側装置で死角の対向車や右折先の横断歩行者を検知。接近している対向車や歩行者がいるにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に右折できるよう支援します。

万が一のときの安全性に寄与する SRS エアバッグシステム

（運転席・助手席デュアルステージニー/サイド、前後席カーテンシールド）

運転席と助手席には、前方からの衝撃力に応じて展開するデュアルステージSRSエアバッグを採用。さらに、下肢を受け止めることで身体への衝撃力を分散・緩和するSRSニーエアバッグを設定。側方衝突に対してはSRSサイドエアバッグ、SRSカーテンシールドエアバッグを備えています。

※SRSエアバッグシステムは衝突時の条件によっては作動しない場合があります。SRSエアバッグはあくまでシートベルトを補助する装置ですので必ずシートベルトをご着用ください。

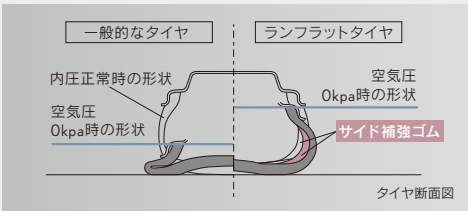


バンク時にも一時的な走行が可能な ランフラットタイヤ

タイヤサイド部の補強ゴムによりバンクしても80km/h以下で160kmまで走行できるメリットを持ちながら、通常のタイヤと同等の上質な乗り心地と操縦性もしっかり確保するため、外側の硬い層と内側の柔らかい層の2層となっているトレッド面のゴムのチューニングにより、相反する性能を高いバランスで両立しています。

※「F SPORT」*1
 *「version L」*2 *「version C」*2 UX300h *2

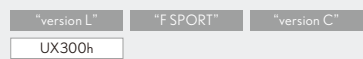
*1. 225/50R18 95Vランフラットタイヤ&18×7J「F SPORT」アルミホイール（ダークプレミアムメタリック塗装）
 *2. 225/50R18 95Vランフラットタイヤ&18×7Jアルミホイール（切削光輝ダークグレーメタリック塗装）
 ※気候や走行状況などによっては、80km/hまで速度を出せない場合があります。走行可能距離は条件によって異なります。なお、バンク走行後の再使用はできません。



安心のための細やかなアシスト

LED コーナリングランプ

右左折時に、車両進行方向や側方へより多く配光することで、コーナリング時の安全運転に寄与します。



タイヤ空気圧警告表示

（マルチインフォメーションディスプレイ表示付）

空気圧が低下したタイヤがあると、メーター内のインジケーターランプ点灯とともに、マルチインフォメーションディスプレイに空気圧の数値を反転表示します。イグニッションON で空気圧を検出するため、走行前に確認が可能です。

※電波環境によっては空気圧の検出ができない場合があります。



機能説明
 動画はこちら



■ = 標準装備 □ = メーカーオプション □ = ティーラーオプション

※装備類の詳細い設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。